



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2019年3月10日(日)9:30~12:00(曇り後雨)

参加者 一般：5名(うち子ども2名)、

指導員：3名

## テーマ 「春の息吹を感じよう！」

暖かな日が続いたので、虫や花がたくさん見られるかと思ったのですが、あいにくと雨が降りだしそうな空模様で、蝶の飛び姿は期待薄です。

今季、桜の開花は早そうだという予報ですが、今年のこの観察会(3/11)では咲いていたアメリカハナノキも、この日は、まだ蕾でした。必ずしもすべての花の開花が早いとは言えないようです。

タワー近くのハクモクレンの蕾が膨らみ咲き始めていました。蕾の先端が北側に向かっているところを観察しました。南側の細胞の成長が北側より早いことによって生じる現象です。

川原に下りたところではトサミズキの花が咲いていました。

一つの花芽から数個の淡黄色の花序が下がっています。葉が展開する前に花が開きますので、咲いている木はよく目立ちます。5枚の花弁、5本のおしべと紅色を帯びた葯、先端が二つに分かれた柱頭などをルーペを使って観察しました。

南派川には先月からずっと水は流れていないようで、石の間に干からびたモクズガニの姿がありました。

キツネの巣穴の辺りには、他所ではあまり見かけないイヌナズナの花が見られました。ここで観察会を始めた2015年の4月には一面に黄色の花で埋まっていたのですが、その後、草刈りなどのためか減少傾向です。

堤防では4月にはスミレがたくさん咲き乱れますが、既に花を咲かせているものもありました。例年この時期、モンキチョウやキタテハなどが見られますが、この日は天気の良いベニシジミが2頭飛んただけでした。

朝の天気予報では雨は正午頃からということでしたが、10時過ぎには降り始めてしまいましたので、急ぎ足で満開のミヤマウグイスカグラやサンシュユの花を見て回りました。(報告：齋竹)



(トサミズキの花を観察)

### <その他観察できたもの>

鳥：ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、キジバト、ドバト、シメ、スズメ、カワラヒワ、エナガ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、ハシボソガラス、ウグイス(声)、アオサギ、カルガモ

虫：ナナホシテントウ

花：ニホンタンポポ、オオイヌノフグリ、ミチタネツケバナ、オランダミミナグサ、ホトケノザ、シロツメクサ、ベニバトキワマンサク、ユキヤナギ



北に向くハクモクレンの蕾



トサミズキの花



咲き始めたスミレ



サンシュユ